

連盟ニュース

320

神奈川

9

2011.9.13



『明神岳の雄姿』上高地・明神にて 撮影：鳥越章夫(<http://tory.com/>)

沢：北アルプス・上ノ廊下。山形・大滝沢。



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

9月号(320) 目次

《会山行紹介》

夏合宿 北アルプス 上の廊下～赤木沢遊行

さがみ山友会 柳下 5

《お知らせ》

関東ブロック自然保護集会・埼玉10/15-16

4

(丹沢大山)自然再生シンポジウム10/30

4

全国自然保護担当者会議・日光11/19-20(詳しい情報未収)

講演・大雪山の花園は今 / NPO法人アース・ウィンド

11

《報告》

県連ハイキングリーダー学校実技山行4「葛葉沢」8/7

藤沢山の会：五十嵐武 3

感動の山形・大滝沢の沢登り(県連HCL学校クラブ山行)

藤沢山の会 小嶋倫子 3

8月自然保護委員会報告8/29

川崎ハイキングクラブ 大用ユキ子 12

9月度常任理事会報告9/5 次号掲載

8月事務局長会議議事録

12

登山時報8月号紹介 / ナマステメールvol 35.36

13

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

14

川崎労山、川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、こぶし、藤沢山の会、相模AC、

みずなら、カモの会、やま++、山ブキ、M&C

県連のスケジュール / 全国会議行事予定

16



「葛」 季節の花300より

感動の山形・大滝沢の沢登り

7月22～24日に前からずーっと楽しみにしていた県連ハイキングリーダー学校、オプション山行、山形・大滝沢の沢登りに参加した。参加者10名の内、C.Lの中山さんの他講師が4名という、初心者の私たちにはなんとも贅沢な山行であった。経験者が安全を配慮し、指導してくださったので、水に入りながら沢を遡行する楽しさ・おもしろさを十分に味わわせてもらった。

私が感動したのはなんと言っても沢で泳げたことであった。みんなが岩をトラバースする箇所を私はリュックを背負って2度泳いだので、水は少し冷たかったけれど気持ちよく、楽であった。しかし、2度目の時は泳ぎ着いた岩に自力ではなかなか這い上がれなくて、ロープで引っ張ってもらったが、腕の力が弱いと思うように体を引き上げられずに苦勞した。休憩の時、高校生が滝壺のような所で泳いでいたので、水中眼鏡を借りて泳いでもぐったら、底は深い青緑色に透き通っていて、滝の泡が白くもこもこと幻想的であまりにも美しかったので怖くなり、もう少しもぐっていたかったが初めてのことで早々に上がってしまったが、大満足であった。

次の感動は、幅広い鉄分の多い赤茶色の滑らかな川底をピチャピチャと思いつきに気持ち良く上って行くと、突然前方に現れた高さ80メートル、滝壺近くの幅50メートル位に広がったスケールの大きな大滝であった。さすが東北！！こんなすばら

藤沢山の会 小嶋倫子

しい一連の体験をこれからの子ども達にさせてあげたいと思った。しかし、岩を登ろうとして滑った時、お腹に擦り傷ができ、やはり沢は楽しいけれど、危険が伴うのもっと経験や技術が必要であると実感した。

最後に宿の滑川温泉の露天風呂が熱めなので、時々下りて沢に入ったりして、自然と一体の解放感に浸ることがができ、久々の命の洗濯となった。

反省会の時は、又来たいという声が多く挙げられた。本当にお勧めのコースです！

C.Lを始め講師の方々、私たちに多くの感動の機会を与えてくださり、どうもありがとうございました。



県連ハイキングリーダー学校実技山行4「葛葉沢」8月7日(日)

藤沢山の会：五十嵐 武

秦野駅8時集合、タクシーで葛葉の泉へ。

葛葉の泉8時30分着、準備して入渓9時20分水温を計る。リーダーの判断で水量は通常の3倍と云う事です。狭い沢でしたので暗く約40分遡行し明るい横向きの滝に出ました。休憩をとり、滝を次々とクリアし8mの板立の滝ではロープを出してもらい確保しました。その時講師から積極的に水に入れ、水が流れていて苔の付いていない所の方がホールドもスタンスも良いと教えてくれました。

最後の詰め大平橋が見えているのに歩けなくなりま



した。脈をとり水分補給し安静にしました。昨夜のお酒が残っていたようで、しっかりおしかりを受けました。深く反省し今後活動して行きます。帰りは丹沢林道のナビでしたがコンパスをすっかり忘れていました。

反省会の大倉ビジターセンターではホールの中にもヒルがいて大騒ぎとなり楽しい研修となりました。



第21回関東ブロック自然保護担当者交流集会

1. 開催日時 2011年10月15日(土)～16日(日)
2. 開催場所 「民宿・長瀬荘」0494-66-0336 URLで長瀬荘を検索
埼玉県秩父郡長瀬町大字長瀬1504(秩父鉄道「上長瀬」駅徒歩5分)
3. 参加費 宿泊参加(1泊2食)¥8,000
4. スケジュール
 - 10月15日(土) 講演・野口皖永(アヅ川)氏(秩父アパソクラブ 会員)
「武甲山と秩父の歴史と自然保護」
 - 10月16日 武甲山登山(登山中止の場合は市内見物)

豊かな自然を未来につなぐため、いま私たちができること

自然再生シンポジウム ～見えてきた丹沢再生～

丹沢山地は身近な大自然として首都圏の多くの方々に親しまれ、県民の暮らしを支える大切な水源地にもなっていますが、1980年代から自然環境の衰退が深刻化しています。そこで県民、企業、学識者、行政などが連携して取り組み、5年の節目を迎えました。

今回は、「見えてきた丹沢再生」をテーマとし、丹沢を知り抜いた人々から、これまでの活動報告を行い、今後の取組みについて意見交換を行います。

豊かな自然を未来へつなぐため、いま私たちができることは何か、丹沢の自然環境について一緒に考えてみませんか。

平成23年10月30日(日) 12:30～17:00 (12:00開場 12:00～12:30ポスターコーナー自由閲覧)

場所：かながわ労働プラザ 多目的ホール

定員：280名(事前申込制、申込みは裏面へ)

参加費：無料

主催：丹沢大山自然再生委員会

共催：神奈川県自然環境保全センター

プログラム

1 基調報告

自然再生の長期的視点と短期的視点 - 丹沢自然再生の時間軸について考える -

〔鈴木雅一 東京大学大学院〕

2 活動報告

地域で活動する団体の報告

・ひろげよう！表丹沢活動の輪 ～ビジターセンターから～

〔柳川美保子 公益財団法人神奈川県公園協会 秦野ビジターセンター〕

・北丹沢青根地域から 〔杉本憲昭 NPO法人北丹沢山岳センター〕

東丹沢の沢や水場の大腸菌検査 〔小林朋子 神奈川県勤労者山岳連盟〕

丹沢の鳥類と丹沢湖における外来種カナダガン問題 〔石井隆 日本野鳥の会神奈川支部〕

丹沢大山自然再生計画の取組み 〔羽太博樹 神奈川県自然環境保全センター〕

3 ポスター発表

表丹沢地域の活動団体、ビジターセンター、日本野鳥の会神奈川支部、NPO法人みろく山の会、丹沢大山ボランティアネットワーク、自然公園指導員など

4 意見交換

問題提起

・丹沢大山自然再生計画への評価と要望〔中村道也 NPO法人丹沢自然保護協会〕

・丹沢大山自然再生計画への科学的評価〔羽山伸一 日本獣医生命科学大学〕

会場との意見交換 司会：壺阪敏秀 株式会社テレビ神奈川

総括 〔新堀豊彦 NPO法人神奈川県自然保護協会〕

問合せ・申込み 丹沢大山自然再生委員会事務局(神奈川県自然環境保全センター自然再生企画課内)

電話：046-248-0323(内線298) FAX：046-248-0737

Email：info@tanzawasaisei.jp ホームページ：http://www.tanzawasaisei.jp/

行事名・住所・氏名・FAX番号・同行者を明記して、10月20日までにお申込ください。

《会山行紹介》北アルプス 上の廊下～赤木沢 さがみ山友会

日程 2011年8月13日～16日

メンバー CL平本、SL早川、木下、熊崎、柳下(記録)

コースタイム等

8月12日 21:30海老名駅集合 02:00扇沢着仮眠。

8月13日 トローリーバス6:30 6:45黒部ダム 9:50平の渡し 12:35奥黒部ヒュッテ13:20入渓
15:30口元のタル沢 17:00終了

8月14日 7:30出発 9:40上の黒ピンガ 10:45金作谷 15:20赤牛沢 17:00終了

8月15日 7:50出発 10:30薬師沢小屋 12:00赤木沢 14:00大滝 16:15登山道 18:40終了

8月16日 7:45出発 10:20折立

交通費 車代一人約11000円(車両回送費3万円)、トローリーバス1710円

沢をやるからには、一度は行きたいと考えていた上の廊下。過去にも計画したが実現しなかった山行が、入会初年度に実現することになった。自分なりにトレーニングを積み、体調を整え、当日を迎えた。

8月12日(金)

21時30分 海老名駅西口集合

途中若干の渋滞があり、扇沢駐車場に2時前に到着する。扇沢駅のすぐ下にある車両回送サービス受付の駐車場に車を止め、近くにテントを張り仮眠。

8月13日

早朝から扇沢は賑わい出す。始発のトローリーバスに乗るため、5時過ぎに起きる。車両回送サービスの職員が「バスの受付は30～40分前にならないと開かない」と言っていたので、のんびり朝食など済ませていると、どんどん人が並び出し、長蛇の列が出来る。急いで並んで切符を手に入れ、重い荷物を背負って早足で歩き、始発のバスにぎりぎりでも間に合い、ドア付近に強引に乗り込む。バスは満員電車並だ。15分で黒部ダムに到着、トンネルを歩いて外へ出る。風は涼しく、すがすがしい。



10時の渡し舟に乗りたいので、早足で黒部湖岸の道を歩くが、荷物が重く、すぐに普通のペースに戻った。ロッジくるよんを過ぎると舗装された道が登山道になり、黒部湖に注ぐ支沢に沿って回り込みなが

ら、小さなアップダウンを繰り返して進む。20センチはあるかという巨大な山ナメクジに熊崎さんがちょっかいを出す。さすが黒部。こんな大きいのがいるのか。湖を遊覧船が通っている。あれに乗って平の渡しで下りられれば楽なのに。登山道は御山谷で下まで降りる。7時45分到着で5分間休憩。平本さん、熊崎さんはGWにスキーで滑ったそうだ。機会があれば、私も来てみたいところだ。また木の階段を登り、平の小屋まで歩く。みんな重荷でペースがはかどらない。中の谷到着が9時30分。残り30分。10時の船に間に合わないと計画した口元のタル沢まで進めない。平本さんが先行、残りメンバーも休まず歩く。平の小屋が見えてくると、湖岸に船が浮かぶのが見え、9時50分に船着場に到着した。



船は時間通り出航、10数人の登山客を乗せて、湖をゆるゆると進む。15分ほどで対岸の船着場に到着、早川さんの腰が痛むようで、共同装備などを再分担する。10時45分出発。船に間に合ったので、余裕ができた。少しペースを落として進む。最初はなだらかな湖岸道は、次第に階段が増え、アップダウンを繰り返す。眼下に見える黒部ダムはどんどん幅が狭くなり、目指す黒部川本流の流れになってくる。水は少ないように見えるが、実際はどうなのだろうか？1時間半ほどの歩くと、道が左にまがり開けた場所に出る、しばし歩き、東沢を渡り、キャンプ指定地を過ぎて、12時35分に奥黒部ヒュッテ到着。平本さ



んがヒュッテに計画書を出し、上の廊下の様子を聞いてくると、ここ数日は毎日1パーティーで、戻ってきた人はいないとのこと。遡行のチャンスだ。身支度し、昼食をとり、東沢まで戻り13時20分に入渓する。

東沢出合から、目指す上の廊下が見える。

広い河原に透明な水が流れ、河原に枯れた立ち木が一本ある。河原が広いので威圧感はないが、大きな川の本流に来たのだと感じる。早速右岸から左岸に渡渉だ。水は冷たく、深さの割に、意外に流れが強い。これが上の廊下の水流か。右岸の河原を歩くが、砂がついた靴底で岩に乗ると滑りやすい。

ちょっとした岩の乗越しで、右足がすり、熊の沢出合で休憩。いよいよ本格的な渡渉の繰り返しとなる。スクラム徒渉を繰り返す。2人と3人に分かれ、あるいは強い流れのときは5人で徒渉を繰り返す。徒渉トレーニングで練習したように、パートナーに思い切り体重をかける。一人では越えられないところでも、仲間がいると安全に通過できる。スクラム徒渉の強力さを実感する。河原は狭くなり、両岸が立ってくる。右岸からは滝が入り込んできて、1時間も歩き、徒渉を繰り返すと、目の前に黒い崖壁、下の黒ピンガが姿を現す。迫力がある。写真をとって休憩する。



左岸からの雪渓の詰まった沢を過ぎると、本日の核心部、口元のタル沢のゴルジュに到着。徒渉トレの時に聞いていた話では、15mほど泳げれば大丈夫ということだったが、実際の流れを見

てみると、こんな強い流れを越える自信がない。平本さんが泳ぎたい人を募ると、早川さんが立候補。空身になり、ロープを引く。へつりでゴルジュの奥まで行き、左岸に向けて下流に流されながら泳ぐ。

対岸までたどり着くが、目標よりやや下流になってしまい、流れが強く壁から引き離されてしまう。あと1m上流の、凹角で流れが巻き込みになっているところまで行ければ大丈夫なのだろうが。3回チャレンジするも無理。次いで柳下がチャレンジ、早川さん同様に対岸まで行ったが、結局流されてしまう。ここまでは腰上の徒渉で済んだが、全身ずぶぬれになると、一気に寒くなる。日もあたらず、震えが出て止まらない。さらに平本さんもチャレンジするが流される。方針変更し、木下さんが左岸から巻く。ロープを出して5mほど上がり、ハーケンを打ち、ゴルジュを越えて下った。私は上りは良かったが、クライムダウンができず、笛を吹いて助けを呼んで、下り方を教えてもらう。その先は左岸の踏み跡を辿りゴルジュを越える。

通過にはトータルで1時間近くかかっただろうか。冷えた体は辛く、早く焚き火にあたりたい。最後は右岸にスクラム徒渉し、一段あがったところを幕場とする。17:05に終了。焚き木が良く乾いていてあつという間に火がつき、火にあたるとほっとする。本日の食当は早川さん。ナスの炒め物2種、焼き豚の豪華な食事だった。熊崎さんが大きな岩魚を釣り上げたが、写真だけとってリリースする。持ち上げた食事がたくさんあるのだから、敢えて食べる必要もないだろう。

翌日は上の廊下の核心部を通過する日になる。泳ぎがあるので日が当たらないと寒いという木下さんの意見が採用され、朝はゆっくりすることにする。

今日一日頑張ってくれたリーダーとサブリーダーは食後間もなくテントにもぐりこむ。残り3人は、月が稜線から顔を出すのを待ちながら、酒を飲む。木下さん、熊崎さんは外でゴロ寝。

8月14日

良く晴れている。朝食は簡単にスパゲティで済ます。遡行準備をすると、7時過ぎには谷に日が差し始める。7時30分出発。右岸から滝が落ちてくるところで、朝一番の徒渉。平本さん先頭で左岸に渡り、後続はザックピストンで通過。



廊下沢を過ぎると遠く薬師岳からの主稜線が見えてきて、北アルプスの真ん中を歩いていることを感じる。旧黒五の広い河原に1時間ほどで到着、休憩する。真っ青な空の下の広大な河原歩きは、日本の沢を歩いているとは思えないような雄大さだ。歩いて歩いても河原が続くのは、人によっては冗長に感じるかもしれないが、どこまでも続くこの開放感
は素晴らしい。



途中で平本さんと、木下さんが足を痛め、平本さん



は念のためテーピングをする。次第に両岸が立ってきて、1時間ほどの歩きで上の黒ビンガとなる。大岸壁と木々の緑、側壁から流れ落ちる美しい滝、青い空に酔いしれる。皆、写真撮影に余



念が無い。

登山者というより、外国旅行に行った観光客のようだ。上の廊下で、どこが一番美しかったかと言えば、間違いなく上の黒ビンガだろう。

下降してくる3人パーティーに上流の様子を聞く。



心配していた雪渓も大したことないようで、安心する。10時45分金作谷に到着して休憩。薬師岳に突き上げる金作谷には雪渓が詰まっていて、雪渓の白と青空が、いかにも夏の北アルプスという風景で、これも美しい。

しばし見とれて、11時10分に二つ目の核心部である金作谷上流のゴルジュに突入する。



体が冷えるし、色々あったので、二日目のこの先の記憶は断片的で曖昧なので、記録としての価値は無い。当日のメモから再現すると平本さんがロープを引き、右岸をへつって淵を越える。

左岸にうつり、早川さん泳ぎで右岸へ渡りテラスへ上がる(11:30)。さらにザイル徒渉で左岸へ渡り、11:50に休憩とする。40分間のゴルジュ通過で体が冷え切ってしまった。太陽の熱で温まった岩に抱きつき、日向ぼっこして体を暖める。12:10出発。



次の淵は熊崎さん先頭で右岸からへつりと泳ぎ、後続はロープ伝いに泳ぐ。その後もザイル徒渉、へつりなどあり、ゴルジュを12:40に終了。しばらく平凡な流れで、13:30に赤牛沢手前のゴル



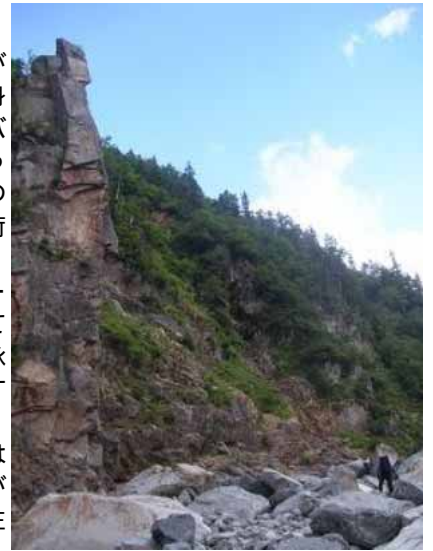
ジュに入る。早川さんが右岸を空身で泳ぎ、バンドに上がって、全員のザックを荷揚げする。後続はロープを使ってへつりと泳ぎで通過する。

次の淵は平本さんが右岸から左岸へ泳ぎ、後続はロープで超える。15:20赤牛沢に到着。

岩苔小谷を過ぎ、2mの滝のところは、平本さんが左から右へジャンプ。まるで白熊のような迫力のあるジャンプだ。次の淵は右から高巻き、さらに左から右へジャンプする。

立石奇岩を過ぎ、広河原になる。17:05上の廊下核心部をクリアし、本日の行程を終了した。

焚き火をおこし、今日は早速飲み始める。夕食は熊崎さんの炊き込みご飯と味噌汁、うずらの卵とカ



二缶付きで満腹になる。月が出るのを待ちながら飲み続ける。雲がなく、昨日以上に明るい月で、こんなに明るければ夜間行動も困らないねと話す。

リーダーが「今日は外で寝る」と宣言したが、2名は指示に従わず、テントを張って寝る。夜はかなり冷え込んだ。やはり外で寝た木下さんによると、寒さで平本さんがすぐ焚き火の脇に移動してきたので、薪が足せなかったということだ。

8月15日

核心部を通過したので、今日は余裕をもって楽しめる日程のはずだ。

木下さんが朝釣りに行った。餌の川虫を探して石をひっくり返したら、イワナがビックリして逃げていったとのことで、イワナはたくさんいるようだ。川虫3匹でイワナを3匹釣り上げ、効率が良い。イワナをぶつ切りした味噌汁になる。アスパラの炒め物もあり、豪華な朝食だ。

7:50出発する。特別に難しいところは無い。途中で登山用のフライパンを拾う。9時に大東新道と合流し、休憩していると岩の上に新品のロープを発見。放置しておくわけにもいかないので回収する。大東新道はところどころで高巻きしているが、我々は水線通しに進む。私は3日目の疲れが足に来ていて、なんでもないところでスリップして脛をぶつけてとても痛かった。イワナがうようよ泳ぐ淵を2つ過ぎ、10時30分に薬師沢小屋に到着。とうとう上の廊下の遡行を達成した。でも、まだ赤木沢が残っている。

薬師沢小屋を10:50出発。赤木沢直前の淵は右岸から越えるが一歩が意外に難しかった。12:00に赤木沢出合に到着。赤木沢出合の淵では時折光が差し、美しい。

赤木沢でイワナと一緒に泳ごうと思って水泳用のゴーグルを持ってきたが、疲れていたのでパスする。

赤木沢は出合からナメ滝が続く。ウマ沢出合からは4段30mの滝。1段目は直登。2段目は木下さんがロープを出して右から登り、草付をトラバースするが、しっかりした踏み跡がある。3段目は木下さんと柳下は右から巻き、他3人は右壁を直登。4段



目も柳下は巻き。その先も小滝とナメが連続。疲れてきたため良いテン場を探しながら歩く。段々空が暗くなり、大滝手前で雨が降り出す。大滝は右から高巻き、大滝上は右から入る2本目の沢に入る。3日間の歩きの疲れが出て、遅々として進まない。すぐに水が枯れるが、今日中に太郎平のテン場までに行くことに決め、行動中の水だけを汲む。後は進むのみ。



水が枯れた源頭の草原を溝に足を取られながら一步一步進み、4時15分登山道についた。上の廊下から赤木沢まで計画した全ての遡行を終え、握手。完全遡行達成、メンバーに感謝し、お互いをねぎらう。装備を解き、重くなったザックを背負い、雨とガスの中、太郎平のテン場に向けて2時間の稜線歩きとなる。晴れていれば、美しい縦走路だ。



太郎平小屋で幕営の手続きをして、乾杯用のビールを仕込み、テン場到着は6:40。夕食は平本さんのマーボ春雨高野豆腐、シーチキン、ランチョンミート入り。昨日が寒かったので、焚き火ができないテン場は心配だったが、テントの中は暖かく、服もすっかり乾いて暖かい夜となった。ちょっと狭かったのと、みんな疲れていて静かに眠っていられなかったのが難かった。

8月16日

本日は下山するだけの日程。朝起きると視界も開け、昨日たどった稜線が見渡せる。3日間歩いた黒部流域に思いを馳せる。



天気が良く、この先下っていく行程が見渡せ、どんどん歩く。おおぜいの登山者とすれ違い(若い女性比率も高い)、最後は樹林帯の急下降で約2時間半で折立到着。長かった山行が本当に終了した。



早川さんの車は既に回送されており、立山駅までメインキーを回収に行き、有峰林道(1800円!)を通過して平湯で昼食(「おこじょ」牛すじカレー900円はお勧め)、入浴し、渋沢経由で帰宅した。

どんぐりパーティーの上の廊下遊行

平本 三浩

今回のパーティーには特に泳ぎや渡渉に強い人間がなく、どんぐりの背比べ的なメンバーだ。幸いにして天候と水量が安定していたので、難なく遊行を遂げることができた。

事前の渡渉トレや東沢での練習山行では芳しくなく、本当に上の廊下に行けるのだろうか?との不安を抱いていたことも確かだ。田中さん、松田さんの両エキスパートからの前向きで具体的なアドバイスを頂いたことにより、先頭を切って激流に臨む覚悟ができた。メンバーも5名の、沢としては大パーティーとなり、リーダーとしての責任を感じたが、早川さんが事前調査、現地での状況把握など計画面での中心的役割を果たしてくれた。

渡渉の時も自然と2・3名で、時には5名全員でスクラム渡渉に入りメンバーの息も合っていたと思う。

上の廊下は天候と水量により状況が全く変わるといふ。今回は好条件に恵まれてラッキーだった。広大で美しい渓谷を各々の個性を生かして、時には力を合わせて、のびのびと遊行できたことは、本当に幸せなことと思う。また、この良きパーティーのリーダーを勤めさせていただいたことに対しメンバー全員に感謝します。

2回目の上の廊下

木下和男

2回目の上の廊下です。今回は水の量が少ないが水流が速くて腰ぐらいの渡渉でも流されてしまいます。すべて水線沿いに行ったので1日中水に濡れていました体力が奪われます。晴れていたのだから暖かい石を抱いて濡れた身体を暖めました。チームワークのおかげでスクラム渡渉がうまく出来ました。下の黒ピンガ、立石奇岩等は記憶に残っていました。イワナとも出会いました。赤木沢では午後から雨に濡れてさんざんでしたスタミナが切れて足が上がりなくなりました。本当にパテパテになりました。長く辛い一日でした。何とか天場に着きホッとしました。今回の沢山行を完全登踏出来たのは平本さんをはじめ皆様の協力があったからだと思いました。本当にありがとうございます。又の沢山行を楽しみにしております。

上の廊下紀行

早川 尚武

帰宅して、一気に緊張感が抜けて、充実感よりも脱力感を感じている。今回の山行に関しては、相当

に精神面での要素が大きかった。過去の、会の2つの記録を参考にしていたが、いずれも水量が多い中でかなりの苦闘ぶりを伺わせていた。果たして、自分達の山中はどの様な状況に置かれるのであろうか。それこそ「神のみぞ知る」事である。

直前まで、黒部川の防災情報に関するウェブサイトでライブカメラの映像を確認していた。黒4ダムの下流域ではあるが、水量は少ない。かなり不安定だった天候も、出発の数日前から安定し始めている。不安が少し薄らいでいく。

初日、晩ご飯のおかずを欲張りすぎて荷物がかなり重くなってしまった。その結果、腰痛が早くも酷くなってしまい、荷物を分ける事に。皆さん申し訳ありませんでした。ちょっとみっともない事です。湖岸沿いの登山道から見たバックウォーターの水量は、低い水位で安定している様子。天気も申し分無い。今回の計画は源流部の赤木沢も繋げているが、まずは申し分ない。「しめた、イケル!」と確信した。

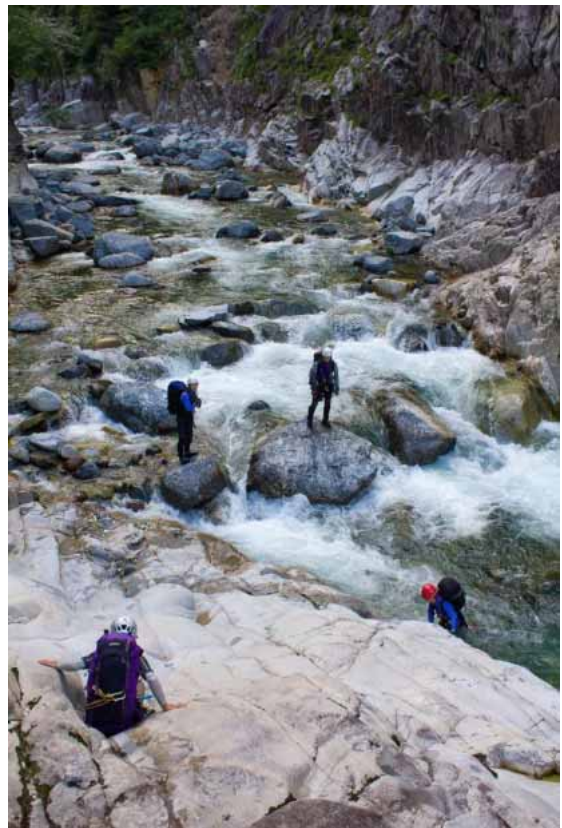
入渓してすぐに、右に、左にと、渡渉を繰り返すが、問題無く通過して行く。口元のタル沢手前のゴルジュ通過でちょっと時間を食ってしまったが、これは体験学習の様なものである。左岸を小さく巻くのが正解。強いて泳ぐ必要はない。

身体を冷やし過ぎると、次の行動に支障が出るので、駄目そうであれば、すぐに対処法を考えねばならない。調子に乗って3回も泳いだ結果、巻きのクライムで身体が動かず、辛い思いをした。

2日目。核心部通過。

出発して程なくして、渡渉するか、へつるか、ちょっと悩ましい場所に出た。みんなして、てんでばらばらに、あっちだこっちだ、とやった挙げ句に行けず仕舞い。結果リーダーがロープを引いて渡渉。リーダー、すみませんでした・・・。

上の廊下は、想像を遙かに超えた雄大な景観を呈している。アルプスの名にし負う、その眺め。薬師岳と言うには、あまりにも人を寄せ付けない山肌の荒々しさ。上の黒ピンガの壮麗な岩壁の景色。所々



に掛かる、川岸の岩肌を削り、水を落とす滝の姿。見飽きず、心飽きる事など全く無い。長い川原歩きでさえ、心躍り、気持ちは馳せ飛んでいく。

川幅が狭まれば、そこに磨かれた花崗岩の、天然の造形美を見る。言い表す言葉を持ち得ない。

3日目。赤木沢。

優美な滝をいくつも掛けて、稜線へと導いてくれる。雄大な景観の川旅の終章を、やわらかに飾ってくれた。明るく開けた渓は、行く先の滝の姿を、穏やかに、また、誇らしげに見せている。

草原を詰め上げ、遊行終了。日が暮れようとする雨と霧の中、たおやかな稜線を幕営地へと急いだ。

講演・大雪山の花園は今 NPO法人アース・ウィンド

高山植物開花フェノロジー調査2011年報告会
北海道大雪山の表大雪の黒岳・赤岳で実施した10年間に及ぶ登山者たちの調査の報告。
地球温暖化の影響を受け、お花畑が全て消滅していく過程の調査と研究。この研究は、環境省の地球温暖化防止の国民アピールにも採用された。

【期日】2011年11月6日(日)14:00~16:00

【会場】東京都新宿区立環境学習情報センター「エコギャラリー新宿」
東京都新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内
Tel:03-3348-6277

<http://www.shinjuku-ecocenter.jp/facilities/map.pdf>

【講師】工藤岳 氏(北海道大学大学院地球環境研究院准教授)

【参加費】無料、登山者大歓迎!

【申込み】資料準備の都合上、FAXにて申込み受付。飛び込み歓迎!

【連絡先】NPO法人 アース・ウィンド(北海道)

Tel/Fax:011-389-9445 Mail:staff@e-wind.org

8月度 事務局長会議 議事録

2011年8月9日(火) 7:20開始

司会：池上事務局次長 (敬称略)

出席者：小池(川崎労山)・伊藤(川崎HC)・砂原(川崎柴笛)・竹田(AC横浜)・丸尾(横浜HC)・三上(こぶし)・中河原(藤沢)・蝦名(相模AC)・松浦(みずなら)・早川(さがみ山友会)・青柳(山ブキ)・佐藤(M&C)

理事等：三上(機関誌)・池上(事務局次長/記録)・西川(事務局部員/記録)

【 】県連からの連絡事項(連盟ニュース8月号参照) 臨時総会準備：議案書の作成、配布(メールでも配信する)

・事務局長会議(交通費)：3月からの実費総額を教えて欲しい。

・代議員名簿提出のお願い：柴笛有り、事務局までメールで知らせて下さい。

2011 加盟団体調査表：常任理事管理/鳥越氏 & 全国連盟送信済み

連盟ニュース配布部数の確認

会山行報告のお願い：来月はさがみ山友会

東日本震災ボランティア、具体的に動いていない。関東ブロックに入るか検討中。

全国女性委員会の女性ボランティアは9月23日～25日石巻市に入る予定。

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)

<川崎労山> ヒヤリハットなし。

<川崎HC> ヒヤリハットは毎週集計。滑ったり転んだり、病院に行く怪我をした時は「事故」、行かないときは「ヒヤリハット」にしている。*「藤沢山の会」も同じです。

<川崎柴笛> 特になし。

<AC横浜> ヒヤリハットなし。

<横浜HC> ヒヤリハットなし。会費900円の内県連に500円納入。使用明細、各会員に伝達の必要性。

<横浜こぶし> 特になし。

<藤沢> ヒヤリハットなし。8/20(土)北沢峠集中登山を計画。連盟ニュースを例会に活用。

<相模AC> 6月総会。会員数が減ったので、役員を減らし運営委員会を無くす。例会では、連盟ニュースを見ながら県連の報告。会が潰れそうな危機感あり。

<みずなら> 久しぶりで出席。変わった感あり。又出席したい。

<さがみ山友会> 沢中心の活動をしているので、ヒヤリハットは多いが、大きな事象はない。何年振りかの出席でいろいろお願いしたい。是からは会議に出席するようにします。

<地平線の会> 特になし。

<山ブキ> 明日から夏山山行で仙丈ヶ岳に行く。

<M&C> ヒヤリハットなし。

<司会> 終了後会費200円で懇親会開催。時間の有る方はご参加下さい。

<追伸> 連盟ニュース7月号に掲載された「クンパカルナ7710m」ヤマタリー氷河～周辺・・・アルパイン横浜の竹田さんが懇親会で、当時の模様、現地の実状等を話されてとても興味ぶかった。会議の中で判れば、話して戴いたのに・・・。又12月に出席予定。次回は皆で話を伺いたいものです。

8月29日 自然保護委員会報告

出席者 渡辺(相模AC) 磯部(地平線) 関根(みずなら) 三上(こぶし) 伊藤(横浜HC) 高橋・萩原(藤沢山の会) 吉崎(柴笛) 大用(川崎HC)

報告事項

1. 「丹沢クリーンハイク」報告集完成(400部印刷)

各会に持ち帰り配布(各会自然保護委員)

各協賛団体への発送担当(県と他団体は磯部一般は吉崎 神大と七沢井一氏は大用)

2. H23、10、30(日)丹沢大山自然再生委員会主催の「自然再生シンポジウム」に自然保護委員会から水質調査を発表当日は、お誘い合わせ参加するようお願いします

加藤氏より水質調査ミニ学習と抄読会(予演会)

発表内容の意見交換

その他

水質調査は20年が経過したが、天候に左右され、各会の判断になる為、採集できない箇所もあり。年により、ばらつきがでる沢水採集はリスクも大きく担当会が、今後も引き受けてもらえるか水質調査のミーティング(水質調査担当者統一)が、必要

討議事項

次期クリーンハイク実施日の検討

* 雨の場合は予備日をいれたらどうか

* 5月はゴールデンウィークもあり、11月の初旬頃が全員は参加しやすい

* 会のクリーンハイクは、秋に実施しているので5月と交換したらどうかの声がかから出た

* 秋は日も短く雨が降ると寒くなり、冷える

* ヒルは11月以降なら大丈夫なのでは、無いが
* 水質調査は5月の経年調査をしているので同一データとしては5月が望ましいが・・・

* 5月の第4でなく、一週間早めたらどうか 天気は今までの傾向では、安定しているから

* 各団体でもクリーンハイクや行事をしているので、かち合わない日程にしたい。(H23.3/5)

みろく山の会 H23.3/20 クリーピア 丹沢
 大山クリーンキャンペン10～11月厚木市他6ヶ
 所 6月第1日曜日大倉ポッカ駅伝 等)
 *今回は意見を、出し合いましたが、未だ出席し
 てない会もあります。多くの意見を聞きながら、単
 なる多数決のみの判断だけではなく、色々の場面想
 定を考慮しながら、討議を深める必要があり、1月
 のクリーンハイク準備に入るまで(11月頃)討議を
 続け決定していきたい

今後の活動日程

- 9月 *第14回 労山自然保護講座「上高地の
 自然環境・植生はどのように変化してきたか」
 日程9/17～9/18
 参加者2名(高橋 大用)
- 10月 *関東ブロック自然保護交流会(主管
 埼玉県勤労者山岳連盟)
 日程10/15～10/16
 参加者2名(萩原 伊藤)

- 10月 *自然再生シンポジウム
 日時 10/30(日)13:00～17:00
 場所 かながわ労働プラザ(発表者小林
 自然保護委員はフロア参加)
- 11月 *全国自然保護担当者会議
 日時 11/19(土)～11/20(日)
 場所 日光市交流促進センター
 参加者2名(関根 吉崎)
- 観察会の計画予定(担当渡辺? 来月に具体案を
 出す)

- 9月の自然保護委員会は、9月26日 7時30
 分～県連事務所以下の内容で行います
 *自然保護講座伝達講習(9/17～18上高地
 高橋氏より)
 *自然再生シンポジウム打ち合わせ・準備
 *来期のクリーンハイク実施日の検討
 *観察会について
 *その他

以上



登山時報 9月号 目次

- おでんせ! 岩手の山へ 平井正 03
 自転車で100名山 圓尾勝彦 06
 連載 クイズ地図読み迷人 村越真 宮内
 佐季子 09
 野鳥との出会い カワラヒワ 福井壽彦
 小枝塚三 10
 シングナル 復興の動きと深刻化する原発事
 故と放射能汚染 斉藤義孝 12
 行方不明者の捜索 群馬県連 初期の支援
 活動 武井幸一 13
 「個人会員制度」導入と組織強化の具体的
 提案・第2次案 全国理事会 16
 連載 碧い南の島日より 雨宮節 21
 国土地理院に聞く 新しい地図「電子国土
 基本図」とは? 国土地理院 22
 山のファーストエイド vol.7 恵秀彦 26

- JWAFクリック 28
 全国連盟の活動 31
 専門委員会活動報告 32
 編集後記 34
 インタビュー ひと 鶴沢喜久雄さん 広
 木国昭 35
 地元会員特選ミニガイド
 北海道・塩谷丸山/今野平支郎 東京・伊
 豆ヶ岳/玉林定治郎 36
 ブックエンド 『出雲の山々とその周辺の
 山』ほか 平井充 ほか 38
 会報えつらん室 記念号・特集号 中島典
 子 40
 オススメ山道具 理想の5本指ソックス
 笹原芳樹 42

ナマステメールニュース Vol.36 [2011/8/30]

- 1: 講演・大雪山の花園は今/NPO法人アース・ウィ
 ンド
- 2: 第37回六甲全山縦走大会/六甲全山縦走市民の会・
 神戸市
- 3: 急激な雷雲に即応するレーダー・ナウキャスト/
 気象庁
- 4: 谷川岳一ノ倉沢車両通行止 / 谷川岳交通対策連
 絡協議会
- 5: 特別実証区情報 / 特別実証区各地方連盟ホーム
 ページ
- 6: 石鎚山携帯トイレデーの実施について / 愛媛県
- 7: 地方・山系別リアルタイム雨量情報 (No.19)
- 8: 山の野生鳥獣目撃レポート / 山岳団体自然環境
 連絡会
- 9: トピックス / 日本上空の大気の動画 静止気象
 衛星ひまわり6号・7号

ナマステメールニュース Vol.35[2011/8/12]

- 1: 富士山頂で科学講座・無料見学会2011 NPO法人
 富士山測候所を活用する会
- 2: 全国救助隊交流集会の案内 全国連盟遭難対策部
 (再録)
- 3: 南アルプス南部の夏山登山コースガイド 東海フォ
 レスト
- 4: 沢登り講習会PART-2 全国連盟青年学生委員会
- 5: 人気の夏山の週間天気予報 日本気象協会
- 6: 北アルプスの夏山コースタイム 北アルプス山小
 屋友交会
- 7: 地方・山系別リアルタイム雨量情報 (No.18)
- 8: 解析雨量・降水短時間予報-3 国交省・気象庁
- 9: ナマステとコンテンツ館が全国で利用できます
 (再録)
- 10: トピックス チェルノビル数十個分の放射線
 の危険を告発

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会 <http://www.geocities.co.jp/kawasaki/rousanhp/>

報告：小池秀子 計41名(男27 女14)

7/28-8/7 ヨーロッパ・シャモニ山群(3)	(2)	8/27-28 谷川・ナルミズ沢(4)
7/30 谷川岳・湯檜曾川西黒(1)	8/12-17 北アルプス・穂高岳屏風岩(3)	8/28 毛無山~十二ヶ岳(4)
8/3-5 南アルプス仙丈岳(1)	8/13-28 ヨーロッパ・シャモニ山群(2)	9/4 三ツ峠
8/6-7 奥秩父・東釜の沢(4)	8/27-28 磐梯山(4)	9/4 奥多摩・逆川沢
8/9-15 北アルプス・裏銀座(1)	8/27-28 八ヶ岳・編笠~権現山(2)	9/3-4 会津駒ヶ岳
8/12-15 北アルプス・剣岳~立山		9/10 三ツ峠
		9/16-19 甲斐駒ヶ岳・坊主岩
		9/23-25 穂高連峰・北鎌尾根

川崎ハイキングクラブ http://homepage2.nifty.com/kawasaki_hc/

報告：川上勝夫 計100名(男50 女50) 平均62歳

7/16 大霧山/外秩父(6)	7/31 高尾山/高尾・陣馬(5)	8/25-30 劔岳
7/16-18 苗場山/越後(9)	8/3-6 笠ヶ岳/北アルプス(8)	8/26-27 富士山
7/16-17 富士山/富士山(3)	8/6-8 大雪山系/北海道(2)	8/27-28 高水三山
7/16-17 大源太山/上越(4)	8/7 大楠山/三浦(12)例会山行	8/27-28 東天狗岳
7/17 三頭山/奥多摩(14)	8/7 葛葉沢/丹沢(10)	9/4 倉岳山
7/22-24 大滝沢/磐梯・吾妻(10)	8/11-16 読売新道(赤牛岳・水晶岳・鷲羽岳・笠ヶ岳)/北アルプス(9)	9/7 会・机上学習会
7/23 扇山/中央線沿線(9)	8/12-17 朝日連峰/朝日連峰(3)	9/17 高麗山
7/23-26 白馬三山・唐松岳(4)	8/13-15 瑞がき山・金峰山/奥秩父(2)	9/17-18 高妻山
7/24 高尾山/高尾・陣馬(5)	8/13-17 蝶ヶ岳・燕岳/北アルプス(4)	9/18 金時山
7/24 衣張山/鎌倉(6)	8/13-15 瑞がき山・金峰山/奥秩父(2)	9/19 高麗山と湘南平
7/24-25 エピ山・八間山/野反湖(7)	8/13-17 蝶ヶ岳・燕岳/北アルプス(4)	9/21 サルギ尾根・日の出山
7/25-28 白馬岳/北アルプス(2)	8/29-8/1 槍ヶ岳/北アルプス(6)	9/22夜-25 谷川連峰縦走
7/29-8/1 槍ヶ岳/北アルプス(6)	予定	9/23 陣馬山
		9/25 小檜山

川崎柴笛クラブ 機関紙「柴笛レポート」 <http://www.shibabue.com/page/page-1.htm>

報告：砂原浩二 計37名(男25 女12)平均47歳

8/5 塔ノ岳(1)	(1+1)	尾根(5)	8/28 毛勝山(3)
8/6-7 巻機山(3+1)	8/12-16 水晶岳(1+1)	8/6 金峰山	8/28 塔ノ岳(1+1)
8/7 雲取山(1)	8/12-18 鳴沢岳~折立(2)	8/17 一ノ瀬川本流(1+1)	8/28 真名井沢(4)
8/6-9 北方稜線(1+1)	8/13-17 聖岳~荒川三山	8/19-22 白馬~親不知(6+1)	8/28 御岳山(1+1)
8/6 シダクラ沢(3)	(1+1)		8/29 伊豆ヶ岳(1)
8/10 甲府幕岩(1+2)	8/14-15 常念岳(1+1)	8/26-28 塩見岳(2)	8/29-9/3 槍ヶ岳(1)
8/12-14 唐松岳~宇名月	8/16-19 蝙蝠尾根~仙塩	8/27 大菩薩(1+1)	

アルパインクラブ横浜 <http://acy.jp.org/>

報告 = 岸 直哉 計38名(男23:女15)平均 歳

8/6 つづら岩(岩講習会)(11)	8/16-19 劔岳(三の窓・熊の岩・八峰 峰Cフェース)(3)	8/28 御嶽山(おんたけスカイレース)(1)
8/7 つづら岩(岩講習会)(10)	8/20-22 上高地~湊沢(1+14)	8/28 金勝山(1+1)
8/10 火ノ山・陶ヶ岳(1)	8/22-23 奥穂高岳~西穂高岳(1)	8/28 大菩薩・日川流域・曲り沢(2)
8/13 勘七の沢(1+1)	8/27 美ヶ原(トレイルランin長和)(1)	8/28-29 蔵王山(1+1)
8/13 瑞牆山・カサメリ沢(2+1)	8/27-28 小川山(2)	8/29-30 小川山(3)
8/14 巻機山・米子沢(1+1)	8/27-28 小川山(1+1)	
8/14-15 豆焼沢(2+1)	8/27-29 槍ヶ岳・北鎌尾根(1+1)	
8/15 高尾山(1+1)		
8/15 木曾駒ヶ岳(1+1)		

藤沢山の会 会報「稜線」 http://outdoor.geocities.jp/akio_saito21/

報告=中河原昭夫 計99名(男45:女54)平均65歳

8/1-2 富士山(2)	8/8 富士山(1)	8/18 丹沢・マスキ嵐沢(2)
8/1-4 北ア・燕岳~常念岳(1/他)	8/9 機関誌印刷・発行	8/20 丹沢・玄倉川(3・他)
8/3 運営委員会(15)	8/10 丹沢・神の川・金山谷(1・他)	8/21-22 東北・八甲田山(1・他)
8/4 丹沢・玄倉川(1・他)	8/10 室内例会(44)	8/23-24 近畿・伊吹山・日出ヶ岳(1・他)
8/4-6 北ア・鹿島槍ヶ岳(2)	8/11 南関東・大楠山(5)	8/24 室内例会(37)
8/5-16 海外・リマンツ ヲ(2・他)	8/11 丹沢・塔ノ岳(2)	8/25 奥多摩・御岳山(13)
8/6-8 北ア・槍ヶ岳~穂高岳(3)	8/11-14 北ア・槍ヶ岳(3)	8/27-28 上信越・湯檜曾川白毛門沢(6)
8/7 奥多摩・川乗山(1・他)	8/13 丹沢・塔ノ岳(1)	
8/7 奥多摩・大岳山(1)	8/16-19 北ア・鷲羽岳(2)	
8/7 丹沢・葛葉川本谷(1・他)	8/17-21 夏山合宿(8/20北沢峠集中、21ア・テー)	8/28 富士周辺・三ツ峠山(初秋のつつく
8/7-11 北ア・黒部五郎岳(1・他)		

9/1-10 海外・ロッキー山脈(1・他)	9/10 奥多摩・大岳山(会ハク・11)	9/19 入会説明会
9/3 奥多摩・倉岳山(会ハク・13)	9/13 機関誌印刷・発行	9/22-25 北ア・赤木沢(12)
9/3 運営委員会(13)	9/14 室内例会	9/28 室内例会
9/8-9 上信越・湯檜曾川本谷(教育・遭対部沢実践・5)	9/17-18 北関東・尾瀬・燧ヶ岳(教育・遭対部テント泊・14)	9/29-30 上信越・浅間山

横浜ハイキングクラブ 会報「四季」 <http://yokohamahc.web.infoseek.co.jp/>
報告=丸尾真知子 計50名(男19:女31) 平均62.7歳

8/11 室内例会(31)	8/1-6 荒川三山・赤石岳	剣岳～空木岳	高岳
7/31-8/2 白山(4)	(4)	8/26 山形/東大巔(1)	9/13-16 屋久島・宮之浦岳
8/1-3 八幡平・秋田駒ヶ岳(6)	8/4-5 富士山(1)	8/28 雁ヶ腹摺山(4)	9/18 不老山
8/13-14 アサヨ峰(7)	8/5-6 燕岳(1)	9/8 室内例会(32)	9/19 富士山吉田登山口～五合目
8/7 丹沢・葛葉沢(県10)	8/11 編笠山(1)	9/11 茶臼岳～朝日岳(バスハイク)	9/29 丹沢・大山
8/1-6 鷲羽岳・水晶岳(1)	8/12 ハヶ岳/丸山(1)	9/11-12 前穂高岳～奥穂	
	8/23-25 木曾駒ヶ岳～宝		

横浜こぶしの会 会報こぶし <http://www.justmystage.com/home/smikami/index.html>
報告=三上茂 計20名(男14人 女6人) 平均 歳

8/9-13 聖岳 - 上河内岳	8/12-13 ハヶ岳・赤岳(1)	8/23 役員会(5)	9/14-16 戸隠・高妻山
- 茶臼岳 - 光岳(1+1)	8/22 ハヶ岳・編笠山(1+2)	9/3-4 こぶし祭り中止	9/17-19 黒部川下ノ廊下
8/11 室内例会(9)		9/10 鍋割山	

相模アルパインクラブ 機関紙「こだま」 <http://sagamiac.sakura.ne.jp/>
報告:水村和也 計28名(男20:女8) 平均56.4歳

7/23 モロクボ沢(3)	8/7 二子岳西岳中央稜(2)	8/13-16 小川山(1)
7/24 幕岩(2)	8/5-8 小川山(2)	8/13 北高尾山稜(2)
7/29-30 鳳凰三山(2)	8/11-14 白馬鑓温泉(2)	8/19-21 リーダー学校 東沢 釜ノ沢東俣(2)
7/30-31 小川山(2)	8/7 越沢バットレス(2)	8/17 大山(1)
8/5-7 白馬～不帰～唐松岳(2)	8/12-15 剣岳 ハツ峰(RCCル+)(2)	天候不順で6件ほど中止
8/7 小川山(1)	8/13-15 湯川(2)	

みずなら山の会 <http://home.h02.itscom.net/mizunara/>
報告:藤本慶子 計39名(男25 女14)

8/10 例会	槍ヶ岳(2)	8/24 高柄山(2)	9/14 例会
8/12-14 万太郎本谷沢(4)	8/16 葛葉川(2+2)	8/27-28 富士山(1+1)	9/16-19 湯ノ又沢・虎毛沢(2)
8/12-16 雪投沢・蝙蝠岳(1+1)	8/16-20 烏帽子岳・高天原(1)	8/28-29 天狗岳(1)	9/23-24 前川大滝沢(1)
8/12-16 白馬・唐松岳(2)	8/17-18 硫黄岳・横岳(1)	8/28 塔ノ岳・丹沢山(1)	
8/13-16 北鎌コル-独標-	8/19-21 小蓮華岳(5)	9/8-10 八甲田他(1)	

カモの会 <http://www.kamonokai.com/hp/index.html>
報告:渡辺 計56名(男39:女17)

8/4 劔・立山・五色ヶ原・薬師岳(1)	8/12 北アルプス/赤木沢(3)	8/19 大雪山縦走・旭岳～白雲～忠別～トムラウシ山
8/5 小川山(2)	8/12 鍋割山(1+2)	8/20 小富士(1)
8/6 両神山 中津川水系 大若沢(2)	8/13 北アルプス/劔岳周辺(3)	8/20 奥秩父東のナメ沢(3+3)
8/6 西穂高岳～奥穂高岳(1+4)	8/13 羊蹄山(1+1)	8/20 釜ノ沢東俣(2+12)
8/6 蝶ヶ岳(1+2)	8/13 立山三山・奥大日岳(1+1)	8/24 表銀座縦走(1+1)
8/6 前穂高岳北尾根(4)	8/14 富士山(2)	8/27 古礼沢(1+6)
8/6 金峰山(1)	8/14 雲ノ平(1+1)	8/27 御坂ノ三ツ峠(3)
8/6 ハツ峰ⅤI峰フェース / チンネ左稜線(2)	8/15 アポイ岳(1)	8/27 三ツ峠 マルチトレ(3)
8/7 日和田 登山靴岩トレ(6)	8/14 甲斐駒ヶ岳黒戸尾根(3)	8/28 三ツ峠(2)
8/11 北アルプス・後立山(1)	8/14 鎌倉アルプス(1)	8/28 湯河原幕岩(1+8)
8/11 劔岳・峰・源次郎尾根縦走(2)	8/15 黒姫山(1)	8/28 鎌倉アルプス(1)
	8/16 屋久島(1)	8/28 湯河原幕岩(3)
	8/16 北ア 白馬岳(1)	

やま++ <http://yamaplpla.hustle.ne.jp/xoops/>
報告:栗田 彰 計15名(男11:女4) 平均52歳

8/3 例会	8/8-12 朝日連峰(5)	岳・美瑛岳ほか(2+1)	9/14 例会
8/6-8 鹿島槍ヶ岳(2+1)	8/11-13 白馬岳(3)	8/24 例会	9/23-24 やま++祭
8/7 有明山(2)	8/16-21 北海道・富良野	9/12-13 鳳凰三山	9/28 例会

山ブキの会 報告:青柳百合子 計7名(男:女7) 平均65歳

7/2 富士山	7/18 高水三山	くハイク 筆坂山	8/2 陣馬山	8/22-25 奥穂高
7/14,22 高尾山	7/18 新婦人らくら	7/28-30 仙丈ヶ岳	8/10-12 仙丈ヶ岳	9/21 蕎麦粒山

M & C

<http://blog.mandc.moo.jp/>

報告:岡崎広士 計7名(男5:女2)平均 歳

8/6 小川山(2+1)

8/7 不動沢(1+1)

8/13-15 剣岳

8/7 甲府幕岩(1+1)

8/13 甲斐駒ヶ岳Aフランケ(3)

8/28 城山(5+4)

県連のスケジュール

9月		10月		11月	
1	木	1	土	1	火
			ハイキングL学校実技 全国救助隊交流集会 県連救助隊訓練		
2	金	2	日	2	水
			ハイキングL学校実技 全国救助隊交流集会 県連救助隊訓練		アルパインL学校机上
3	土	3	月	3	木
			常任理事会		全国評議会
4	日	4	火	4	金
5	月	5	水	5	土
	常任理事会		アルパインL学校机上		
6	火	6	木	6	日
					ハイキングL学校実技 救助隊セルフレスキュー
7	水	7	金	7	月
	アルパインL学校机上				常任理事会
8	木	8	土	8	火
					事務局長会議
9	金	9	日	9	水
10	土	10	月	10	木
			連盟news印刷		
11	日	11	火	11	金
	臨時総会		事務局長会議		
12	月	12	水	12	土
	連盟news印刷				
13	火	13	木	13	日
	事務局長会議				
14	水	14	金	14	月
15	木	15	土	15	火
	ハイキングL学校机上		関東B自然保護集会 アルパインL学校実技		
16	金	16	日	16	水
			関東B自然保護集会 アルパインL学校実技		
17	土	17	月	17	木
18	日	18	火	18	金
	第18回全国HC交流集会 第14回芳山自然保護講座				ハイキングL学校修了式
19	月	19	水	19	土
	第18回全国HC交流集会 第14回芳山自然保護講座		事務局部会		全国自然保護会議
20	火	20	木	20	日
			ハイキングL学校机上		全国自然保護会議
21	水	21	金	21	月
	事務局部会				
22	木	22	土	22	火
23	金	23	日	23	水
			ハイキングL学校実技		
24	土	24	月	24	木
	関東B役員交流会				
25	日	25	火	25	金
	関東B役員交流会				
26	月	26	水	26	土
	自然保護委員会				全国海外登山集会
27	火	27	木	27	日
28	水	28	金	28	月
					自然保護委員会
29	木	29	土	29	火
30	金	30	日	30	水
			自然再生シンポジウム		アルパインL学校机上
		31	月		自然保護委員会

2011年度の全国的な規模の集会・会議予定

確保の基礎技術講習

10/2 12/4(相模原市)

関東ブロック役員交流会

9月24日~25日(埼玉)

東日本女性登山交流集会

10月1日~2日

全国救助隊交流集会

10月1日~2日

関東ブロック自然保護交流集会

10月15日~16日

全国自然保護担当者会議

11月19~20日(日光市)